

ご意見・ご質問への回答一覧表 【牛瀨区タウンミーティング】

〔日 時〕平成29年7月27日
19:30～21:00

〔場 所〕牛瀨集会所
〔参加人数〕81名

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
1	東温市の現在の消防団員の充足率はどのようになっているか。 また、日中の火災に対して、出動する消防団員は確保できているのか。	対応済	東温市消防団員は、平成29年8月1日現在、定数638人に対し、実員数605人、充足率は94.8%となっています。 また、日中の団員の火災出動に対して人員不足に陥った事例は発生していませんので、団員の確保はできていると考えています。災害規模によって二次・三次出場可能な招集体制を整えており、今後も人員不足に陥らないよう対応していきます。	消防本部 総務予防課 (089-964-5211)
2	2～3人のグループを作って耕作放棄地の管理を担当させることはできないか。 またその際、市で購入した農機を10年ほど貸し付けることはできないか。	その他	ご提案のように地区でグループ(集落営農組織)を立上げ、その組織が農地を借り受け耕作することは、既に井内、松瀬川、則之内地区で実施されています。 農業用機械の貸し出しは行っていませんが、その組織がある程度の農地を集積できれば機械を購入する際に補助できる制度もありますので、まずは集落営農組織の立上げのご検討をお願いします。	農林振興課 (089-964-4409)
3	高齢者など、誰でも好きな時に行って話ができる「縁側カフェ」のような場所づくりができないか。	検討中	現在、高齢者の居場所づくりとして、地区が運営するサロンがあります。 今後は、更に気軽に参加できる居場所づくりについて地域の協力を得ながら、検討していきたいと考えています。	長寿介護課 (089-964-4408)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
4	東温市と同規模の海外都市の間で、姉妹都市提携を結べないか。	その他	<p>姉妹都市提携は、住民や自治体に国際交流の手段が少なかった時代において、異文化交流の促進等のための、大変有益な手段であったと思われませんが、現在は、比較的自由にかつ安価に海外へ行くことができ、何よりインターネットの普及により、居ながらにして、海外の都市とつながることが可能となりました。</p> <p>異文化を実際に目で見て、手で触れることの大切さについては理解をしておりますが、財政状況は大変厳しく、市としては、国内、特に四国内に目を向け、県庁所在地の近隣市という共通点を持ち、同規模の都市である、香川県のさぬき市、丸亀市と観光物産分野等を主体とした協定を結んでいます。</p> <p>また大阪の泉佐野市とも縁があり、同様の協定を結んでいます。今後、国外も視野には入れつつ、国内における交流を引き続き進めたいと考えています。</p>	総務課 (089-964-4400)
5	海外では校長が直接生徒に指導する場面も多いが、校長のリーダーシップについて、どのように考えているか。	その他	<p>学校現場においては、いじめや不登校への対応、家庭や地域との連携、また、教職員の多忙問題や負担など様々な課題がありますが、校長のリーダーシップの下、学校組織が一体となって、これらの課題の解決に取り組むことが大変重要であります。</p> <p>このようなことから、校長には、教育に対する強い使命感や豊かな人間性を持つことはもとより、教職員の意見を大切にしながら、また、保護者や地域の方々の期待に沿うような視点も必要となり、それらの資質を兼ね備えた人物であることが求められると考えています。</p>	学校教育課 (089-964-4420)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
6	道路、歩道の維持管理のために、巡回してパトロールなどを行っているのか。	その他	<p>市道の維持管理については、巡回パトロールにより、随時対応しているところですが、東温市道481路線(総延長372km)全域についての把握は難しく、毎年、各区長から整備要望いただいた箇所を中心に緊急度に応じて年間予算(7千万円)の範囲内で整備を実施しています。</p> <p>また、公共施設の老朽化の進行により、維持管理費は年々増加傾向にあり、厳しい財政状況の中、自治体にとって今後の大きな課題となっているところ。費用や作業量から十分に目が行き届いていないのが実情となっていますので、情報提供も含め地域の方の出来る限りのご協力をお願いします。</p>	建設課 (089-964-4472)
7	旧JAえひめ中央南吉井給油所前の五差路付近の歩道に、ヨモギが生い茂って通行しづらい。歩道の補修はできないか。	対応済	<p>東温市道481路線(総延長372km)の内、主要35路線の植栽帯等については年間3千万円程度の費用をかけて除草しているところ。費用や作業量から全路線についての除草はできないことから、地域のご協力により成り立っているのが実情です。近年は農家の高齢化等の影響もあり、除草箇所が増え、費用は年々増加傾向にありますので、地域の方の出来る限りのご協力をお願いします。</p>	建設課 (089-964-4472)
8	スマートインターチェンジの整備について、どのような状況になっているか。	その他	<p>スマートインターチェンジは、ETCを搭載した車両に限定したインターチェンジで東温市の大型商業施設や救急医療施設、工業団地などへのアクセスの向上を図るため検討を進めています。平成28年5月に、国が必要性を認める準備段階調査の箇所に選ばれ、国土交通省、ネクスコ西日本、愛媛県、東温市などで利用交通量、社会便益性、設置場所や構造等について検討を行なっているところ。東温スマートIC(仮称)については上下線両方で利用可能なフルインターで検討しており、最終的には国の認可後、本格的な事業実施となります。愛媛県も重点項目として協力いただいております。国に対して、平成30年度からの新規事業化を求めている状況です。</p>	建設課 (089-964-4472)

NO	ご意見・ご質問内容	回答内容(今後の対応及びその理由など)		担当課 (連絡先)
9	牛淵駅前には店の数が減り、空き店舗が増えているが、活性化の良い手段はないか。	その他	<p>参考事例の一つとしては、横河原商店街における取り組みが良い事例であると考えます。後継者の方が自発的に地域に根差した取り組みを行っており、商店街の活性化を図っています。</p> <p>牛淵駅前においても、地域の方による活性化に向けた取り組みがありましたら、市としても支援を行っていきたく考えています。</p>	産業創出課 (089-964-4414)
10	牛淵駅周辺を市街化調整区域から解除し、市街化区域とすることはできないか。	対応困難	<p>市街化区域と市街化調整区域の区域分けについては、愛媛県が指定しています。県からは、人口減少が推計されている現状で、今後、新たに市街化区域を拡大することは、非常に困難であるとの見解が示されています。</p> <p>また、この地区は、既存の市街化区域にも接していないことから、市としても市街化区域に指定されるのは困難であると考えていますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	都市整備課 (089-964-4412)
11	病院や介護施設が多く、顧客の奪い合いのような現状も見受けられる。病院、介護施設を利用する必要がない、健康な高齢者が増えるような取組を進めるべきではないか。	対応済	<p>介護予防事業として、現在、市内の各集会所での定期的な運動教室、川内健康センターでの週2回の運動教室、市内2か所のプールを使用した運動教室、また脳の活性化を目的とした脳トレ教室等を実施しています。広報に各種教室の開催日時を掲載しておりますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。</p>	長寿介護課 (089-964-4408)
		対応可 (今年度)	<p>これまでも、健康教育として様々な取り組みを実施してきましたが、平成29年度は特に、高齢者が元気なまちづくりの推進を図り、青壮年期からの健康寿命延伸のための知識の普及と行動変容を促すため「アンチエイジング」と「加齢」を主体に構成して9月から実施する予定となっております。</p> <p>血管年齢測定、認知症予防検査、ランチョンセミナーにおいて塩分控えめの弁当を喫食し、減塩食を学習する等、体験型健康講座を計画しています。</p>	健康推進課 (089-964-4407)

※タウンミーティングでのご意見等のうち、特定の個人または団体等の誹謗、中傷、営利に関わる内容や市政に関係のない内容については、掲載していません。